

学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式（小学校用）

都道府県名	三重県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	名張市立すずらん台小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	2	1	2	2	1	11	18
児童数	43	38	45	38	50	49	2	265	

研究の概要

1. 研究主題

<p>わかる喜びを感じ、自ら学ぼうとする子を育てるために</p> <p>——— 基礎学力の定着を図る指導を通して ———</p>
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

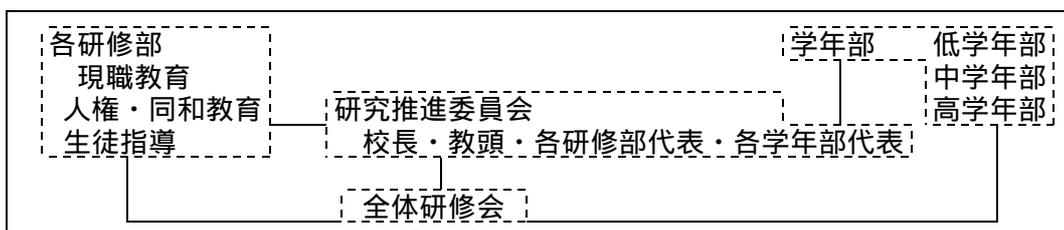
1年生	国語	子どもが書くことに興味があり、すべての教科の基本となるため。
2年生	国語	読む、書くを通して自分の思いを豊かに表現させたいと考えるため。
3年生	国語	書くことは、すべての教科学習に必要であり、書くことを通して思考力を育てるため。
4年生	算数	数、計算を中心として、継続的に学習し習得していくことにより、算数に対する興味・関心を高めるため。
5年生	国語	読むことの楽しさを味わうことで、読書への関心を高め、読み取る力を育てたいため。
6年生	国語	文章を読む力を高めていくことが、あらゆる学習の基礎となるため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>わかる喜びを感じ、自ら学ぼうとする子を育てるために</p> <p>——— 基礎学力の定着を図る指導を通して ———</p> <p>基礎学力の定着を図り、充実させることにより、わかる喜びやできる自信をもち、自ら高めようとする意欲につなげる。また、自己表現力を養うとともに、周りの人とかわり学び合うことによって、生きる力が育つと考える。</p> <p>読む、書く、計算するを中心とした基礎学力の定着を図るための指導の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、保護者の意識調査とその分析</li> <li>・根気よく学習に取り組むための手だての工夫</li> <li>・児童が自分の伸びがわかり、学習に意欲の持てる工夫</li> <li>・効果的な少人数指導の工夫</li> </ul>
--------	--

平成 16 年度	<p>わかる喜びを感じ、自ら学ぼうとする子を育てるために —— 基礎学力の定着を図る指導を通して ——</p> <p>基礎学力の定着を図り、充実させることにより、わかる喜びやできる自信をもち、自ら高めようとする意欲につなげる。また、自己表現力を養うとともに、周りの人とかかわり学び合うことによって、生きる力が育つと考える。</p> <p>基礎学力の定着を図るための指導の研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・根気よく学習に取り組むための手だての工夫</li> <li>・児童が自分の伸びがわかり、学習に意欲の持てる工夫</li> <li>・効果的な少人数指導の工夫</li> </ul>
----------------	---

### (3) 研究推進体制



### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の意識調査から、研究の見通しや内容がより具体的に見えてきた。また、保護者の意識調査から、親の願いとめざす子ども像が重なることが分かった。</li> <li>・単元導入の工夫、個々の児童への声かけなどにより、基礎的な計算力が向上し、苦手意識が薄れ興味、関心が高まってきた。</li> <li>・教師の読み聞かせ、朝の読書、図書室の利用など、学年の実態に応じて取り組んだので読書に興味を持つ児童が増えた。読書量が増えたり、読むことを楽しもうとする姿勢も見え始めている。</li> <li>・読書のアニメーションのゲームを取り入れることで、読むことが苦手な子にとっては、興味づけになり、深い読みをする力につながりつつある。</li> <li>・書くことにつながる様々な活動を取り入れ、継続的に学習することにより、意欲と力が見え始めている。</li> <li>・自分の作品をファイルしていくことにより、振り返りができ、自分の成長に気づくことができた。</li> <li>・少人数を生かしくまやかに個別指導を心がけることで、児童に分かる喜びや自信をつける場面を設けることができた。</li> </ul>
--

#### 2. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が自分の伸びがわかり、学習に意欲が持てる手だてや工夫</li> <li>・個々の児童をしっかりと把握し、興味や関心・意欲を持って活動するための支援のあり方。</li> <li>・効果的な少人数指導についてのより深い研修が必要。</li> <li>・学年間（低・中・高）の系統性を考える研修が必要。</li> </ul>
---

学力等把握のための学校としての取組

2003年4月 「子どもの生活」アンケート（子どもの生活全般をつかむ）  
保護者に「子育てについて」のアンケート（親の願いを知る）  
12月 「2学期を振り返って」各学年の実態に合わせてアンケート  
（学習や読書などについて子どもの意欲や関心をみる）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

2004年1月27日（火）中間発表会（場所）すずらん台小学校  
（対象）上野教育事務所管内  
（目的）本年度の研究の内容を公開するとともに、より広く研究についての意見を聞く機会とする。  
（参加人数）70名

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  6学級以下  7～12学級  
 13～18学級  19～24学級  
 25学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
 一部教科担任制  その他
- 【研究教科】  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無